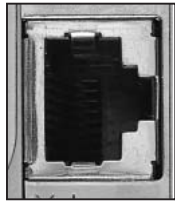


ADSL 導入大指南

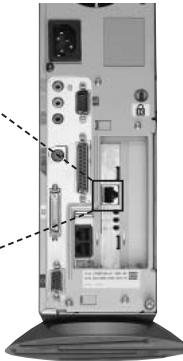
ADSLも12Mbpsのスピードと高速になる一方で値段は下がりがつづけば、リーズナブルなサービスになった。申し込みもラクになり、誰でも我が家のインターネットをカンタンにブロードバンドにできる!

1 ADSLを導入するうえで必要なもの

ADSLを利用するうえで必要なものは電話回線と、LANポートが付いたパソコンだ。今使っているパソコンにLANポートが付いていなければ、デスクトップならLANボードが、ノートならPCMCIAタイプのLANカードが必要になる。購入して設置しておこう。



これがLANポートだ。モジュラージャックより一回り大きい。「DATA」「LAN」などと書いてあるはずだ。



パソコンにLANポートがなければ、LANボードを自分で設置しよう。1,000円程度で購入できる。

2 加入できるかをチェックしよう

ADSLを利用できるかどうかをチェックするには、各ADSL事業者のウェブページを利用するのが便利だ。各社とも、電話番号を入力すれば、その電話回線をADSLにできるかどうかを判定してくれるサービスを提供している。各社のホームページで調べてみよう。

- フレッツ・ADSL (東日本) www.ntt-west.co.jp/ipnet/ip/adsl/
- フレッツ・ADSL (西日本) www.ntt-east.co.jp/flets/adsl/
- アッカ www.acca.ne.jp
- イー・アクセス www.eaccess.net
- Yahoo! BB bb.yahoo.co.jp

アッカのエリア判定サービス。電話回線の市外局番と市内局番、電話番号の1桁目を入力することで、「12Mサービスに加入可能」などと判定する。



3 回線のタイプは3種類

ADSL回線を引くだけでなく、プロバイダーにも加入しなければインターネットに接続できない。ADSL回線事業者により加入できるプロバイダーが違ったり、申し込み方法が異なったりするため、チェックしておこう。

ちなみに、各ADSL事業者の対応プロバイダーについては、それぞれ事業者のホームページで調べられる。

フレッツ・ADSL	NTT東西に申し込む。プロバイダーは別途申し込みしなければならない。多くのプロバイダーが対応コースを提供しており、乗り換えも自由だ。
アッカ、イー・アクセスなど	提携しているプロバイダーに申し込むだけで、ADSL回線とプロバイダーサービスの両方を利用できる。提携プロバイダーは、アッカが6社、イー・アクセスが26社ほど。プロバイダーの乗り換えは、ADSL回線工事が必要になるため、経費と時間がかかる。
Yahoo! BB	一社でADSL回線とプロバイダーサービスの両方を提供しているため、Yahoo!BBに申し込むだけでいい。ほかのプロバイダーとの提携はしておらず、プロバイダーの乗り換えは不可能。

4 申し込もう

具体的な申し込み手順については、各ADSL事業者ごとに次のページから説明している。手順に従って申し込もう。

- フレッツ・ADSL 257ページ
- アッカ、イー・アクセスなど 260ページ
- Yahoo! BB 263ページ

フレッツ・ADSLに加入する

1 ウェブページから申し込む

NTT東日本  www.ntt-east.co.jp/flets/
NTT西日本  www.ntt-west.co.jp/ipnet/ip/adsl/



ウェブサイトから申し込む場合は、NTT東西それぞれのウェブサイトからフレッツ申し込みページへ。



2 電話番号を入力し、現在の回線状況(アナログ or ISDN)とADSLにした際の回線タイプを指定する。



3 申し込むコース(1.5M、8M or モア)を決める。



4 コースの確認



このページでは以下の項目の質問に答えなくてはならない。項目は多いが、事前に調べておけばスムーズにできる。

- ・申込者氏名
- ・回線契約者名
- ・契約区分(法人、個人)
- ・ADSLにする回線の住所
- ・日中に連絡できる電話番号
- ・メールアドレス
- ・利用する予定のプロバイダー名
- ・ADSLに変更するにあたって廃止するサービス
- ・モデムやスプリッターを買い取るかレンタルするか
- ・取り付け工事(モデムの設置を自分でやるかNTT工事担当者をお願いするか)
- ・案内状とセットアップガイド、モデムなどの送付先
- ・工事費の支払方法(電話料金を含む、別途請求書を発行する)
- ・別途請求の場合の送付先

2 電話で確認

ウェブで申し込むと、NTT東西から電話またはメールで連絡が入り、各事項についての確認し、そのうえで工事日を決定することになる。ちなみに、電話であれば大抵1回の話し合いで確認から工事日の決定までを行えるが、メールだとどうしても数度のやり取りが必

要となり、スケジュールの進行が遅くなりがちだ。NTTからの連絡がメールでくるか、電話でくるかは地域によって違いはあるが、日中連絡先の電話番号には携帯電話の番号を入れるなど、必ず出られる番号で登録したほうがいい。

3 プロバイダーのフレッツ・ADSLコースに入会する

フレッツ・ADSLでインターネットを利用するには、プロバイダーから発行されるフレッツ・ADSL専用のユーザー名とパスワードが必要になる。そのため、それらを発行してもらわずにフレッツ・ADSLを引いてしまうと、プロバイダーに入会するには電話を使うか、プロバイダーが配布しているフレッツ・ADSL専用のオンラインサインアップソフトを使うことになる。ウェブサイトから申し込みたい際

には、フレッツ・ADSLへの切り替え工事が行われる前に、あらかじめプロバイダーのウェブサイトで、フレッツ・ADSLコースに入会し、ユーザー名とパスワードを発行してもらおう。ほとんどの場合、すぐに発行されるはずだ。ただし、プロバイダーのサービス料金はID発効日から計算されるため、発効日と工事日が離れていると、利用できないのに料金だけかかることになってしまう。

一部のプロバイダーだと、フレッツ・ADSLの手続きも代行してくれる

一部のプロバイダーでは、フレッツ・ADSLの入会代行サービスを行っている。初期費用の一部をプロバイダーが負担したり、月額費用が割安になったりするキャンペーンを行っていることが多く、NTT東西に直接申し込むよりオトクだ。まずは自分が利用している、もしくは利用を予定しているプロバイダーが入会代行サービスを行っているかをチェックしておこう。

ウェブサイトより「116」に電話したほうが早い

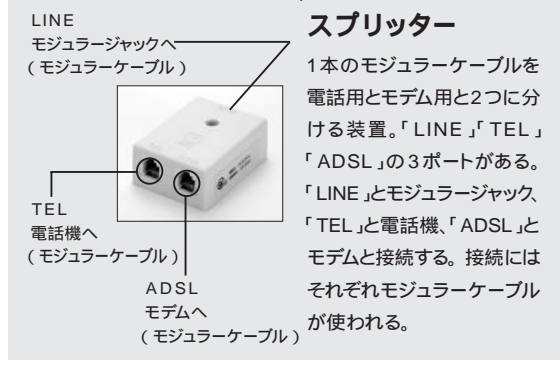
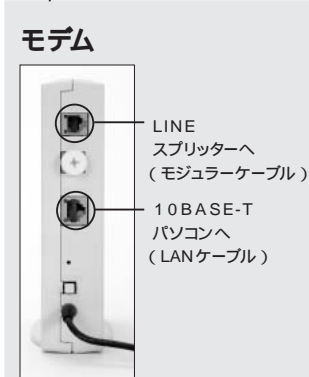
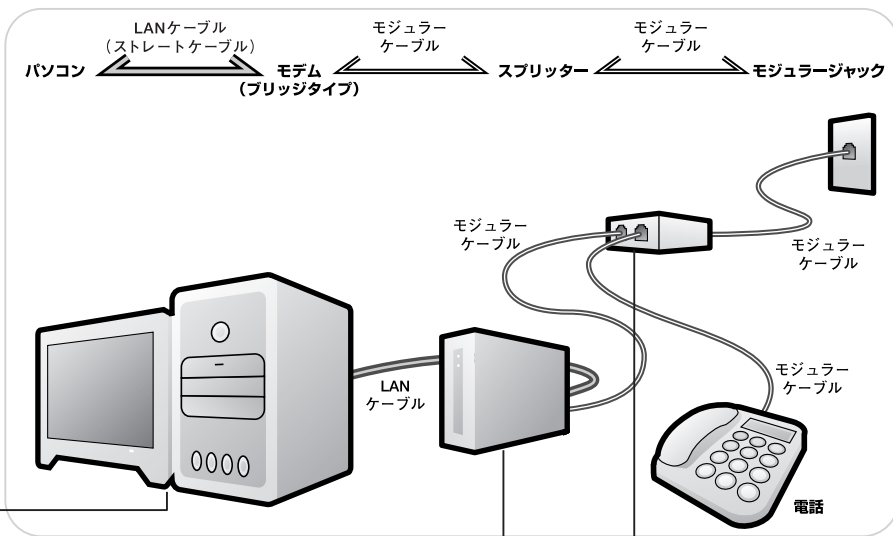
フレッツ・ADSLに加入するには、ここで紹介しているウェブサイトからの申し込みのほか、「116」に電話する方法もある。電話だと、このページにある申し込みから、サービスについての相談、工事日の決定までを1回の電話で済ませられるため、ウェブサイトで申し込んでメールをやり取りするよりも早く回線を引ける。9時から17時までと、申し込める時間は限られるが、日曜日でも受け付けている。電話の時間がとれるようであれば、そちらで申し込むほうが早く引くことができる。

フレッツ・ADSLに加入する

4 モデムとパソコンをつなぐ

回線がADSLに切り替わる工事日の前日までに、モデムやスプリッター、フレッツ接続ツールなどが入ったパッケージがNTTから送られてくる。下の図を参考にして屋内の配線をしておこう。ただし今使ってい

る回線がISDNの場合、電話を使うにはターミナルアダプターが必要になるので、工事日当日にNTTから工事を始めることを伝える電話がかかってくるまでは、スプリッターやモデムは接続しないほうがいい。



NTTから送られてくるモデムには、「LINE」と「10BASE-T」の2つのポートがある。LINEにスプリッターからのモジュラーケーブルを挿し、10BASE-TにはLANケーブルを挿してパソコンにつなぐ。電源を入れるのを忘れず。また、モジュラーケーブルはノイズを受けやすく、長すぎるとADSLの速度が低下する。LANケーブルは長くてもそれほど速度は低下しないため、モジュラープラグとパソコンが離れている場合はモデムをモジュラープラグの近くに置き、屋内の配線はできるだけLANケーブルで引き回すようにしよう。

パソコン

「LANポート」とモデムをLANケーブルで接続する。インターネットに接続するにはパソコンに「PPPoE接続ソフト」が必要になる。NTTから配布される「フレッツ接続ツール」がそれにあたるので、これをインストールしておこう。ただし、ウィンドウズXPにはPPPoE接続ソフトが内蔵されているため、フレッツ接続ツールは必要ない。また、複数台でフレッツ・ADSLに接続する場合は、モデムとパソコンの間に「フレッツ・ADSL対応ルーター (PPPoE対応ルーター) を接続する必要がある。

フレッツ・ADSLのモデムの特徴

フレッツ・ADSLから送られてくるモデムは、それ自身でインターネットに接続することではなく、PPPoEソフトを使ってダイヤルアップと同じような接続をする必要がある。また、外部からの侵入を防ぐファイアーウォール機能はないため、パソコンを常に立ち上げてインターネットに接続するような使い方をするにはセキュリティ上、問題がある。そのような場合は、ファイアーウォール機能付きのルーターを設置したほうがいい。

フレッツ・ADSLに加入する

5 パソコンを設定する

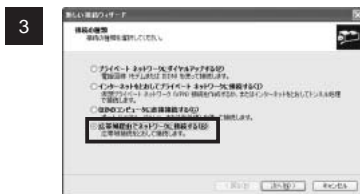
》 ウィンドウズXPの場合

ウィンドウズXPにはPPPoE接続ツールが内蔵されているため、以下の設定をするだけでいい。「フレッツ接続ツール」をインストールする必要はない。

- 1 「スタート」「コントロールパネル」「ネットワークとインターネット接続」「インターネット接続のセットアップや変更を行う」で、「インターネットのプロパティ」を開く。



「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」の枠にある「追加」をクリックする。



「広帯域経路でネットワークに接続する」を選び、「次へ」をクリック。

- 4 接続の名前を付ける。どのような名前を付けてもいいが、たとえばプロバイダーの名前を付ければ、どこへの接続だかすぐわかる。



プロバイダーからもらったユーザー名とパスワードを「ダイヤルアップの設定」枠内の「ユーザー名」と「パスワード」に入力し、「OK」をクリックする。「インターネットのプロパティ」の「OK」もクリックする。



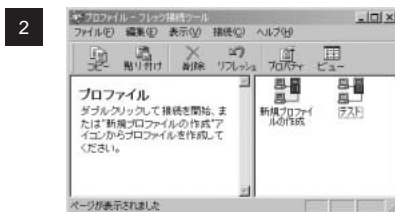
「スタート」「接続」で、今作った接続先が出てくるので、それをクリック。ユーザー名とパスワードは、 で入力したものが記憶されているので、そのまま接続ボタンを押せばいい。

□ PPPoEって?

PPPoEとは、「PPP over Ethernet」の略。Ethernet上でもダイヤルアップと同じような接続ができる。ユーザー名とパスワードを変更することで複数のプロバイダーに対応できるのが大きな特徴となっている。フレッツ・ADSLは、プロバイダーを乗り換えてもADSL回線そのものを切り替える工事は必要ない。

》 ウィンドウズXP以外の場合

- 1 「フレッツ接続ツール」のCD-ROMを挿入し、画面に従って「フレッツ接続ツール」をインストールする。



フレッツ接続ツールを起動し、「新しい接続」アイコンをダブルクリックする。

- 3 画面に従い、「接続の名前」「ユーザー名」「パスワード」を入力する。ユーザー名とパスワードはプロバイダーが発行したものが、接続の名前は自由に決められる。



新しく出来たアイコンをダブルクリックすると、この画面が立ち上がる。「接続」をクリックすれば、インターネットと接続できる。

□ フレッツ接続ツールのCD-ROMをなくしたらどうする?

「116」に電話をしてフレッツ接続ツールのCD-ROMをなくしたことを伝えれば、すぐに郵送してくれる。無料。

アッカ、イー・アクセスなどに加入する

1 プロバイダーのウェブサイトから申し込む

1 アッカやイー・アクセスなどのADSLサービスは、プロバイダーを通して申し込むことになる。



ADSL導入案内ページで、ADSLにしたい回線の電話番号を入ると、その回線で導入できるコースがでてる。



申し込み画面。以下の表にある項目を埋めていく。

- ・申込者氏名
- ・回線契約者名
- ・契約区分(法人、個人)
- ・ADSLにする回線の住所
- ・日中に連絡できる電話番号
- ・メールアドレス
- ・利用する予定のプロバイダー名
- ・ADSLに変更するにあたって廃止するサービス
- ・モデムやスプリッターを買い取るかレンタルするか
- ・取り付け工事(モデムの設置を自分でやるか工事担当者にお願するか)
- ・案内状とセットアップガイド、モデムなどの送付先
- ・工事費の支払方法
- ・別途請求の場合の送付先

2 確認メールを受け取り、工事日を決定する

申し込むと、申し込み確認のメールが送られてくる。申し込み時点でADSLに切り替える回線がアナログの場合、工事日はプロバイダーが設定してくる。回線がISDNの場合は、プロバイダーに申し込んだ後に「116」に電話してNTTにISDNからアナログへの切り替え

工事を依頼し、その工事日をADSL回線業者に伝えなくてはいけないことがある。この場合、「116」への電話が遅れるとアナログに切り替える工事ができず、ADSLへの切り替えが遅れてしまう。メールが送られてきたら、できるだけ早めにNTTに電話してアナログ化工事の日程を決めてしまおう。

「116」でアナログ化工事を申し込み、その日程が決まったら、今度はすぐにその日付をADSL業者に連絡しよう。左の画面は、アッカ・ネットワークスにADSL化工事を依頼するためのウェブページだ。アナログ化工事以降の日付をクリックすると、ADSL化工事を行ってくれる。ちなみに、アナログ化工事と同じ日付を申し込みれば、アナログ化とADSL化を同時に行ってくれる。同日なら工事費用も安く済むので、できるだけ同日にしておこう。

ちなみに、イー・アクセスでは、アナログ化工事についても自動的に行うサービスを開始しているため、これらの作業は不要だ。



アッカの工事申し込みページ。NTTのアナログ化工事と同じ日を指定すれば、一度の工事でISDN アナログ ADSLを切り替えてくれる。

アッカ、イー・アクセス、T-Comなにを選べばいいの?

大手のプロバイダーの一部地域だと、アッカやイー・アクセス、T-Com、電力系など多くのADSLを選ぶ。しかし、フレッツ・ADSL以外のこれらのサービスにほとんど違いはない。入会するときに行われているキャンペーンなどで選んでしまってもいい。

アッカの審査は厳しい。電話局からの距離によっては、申し込みめないことも

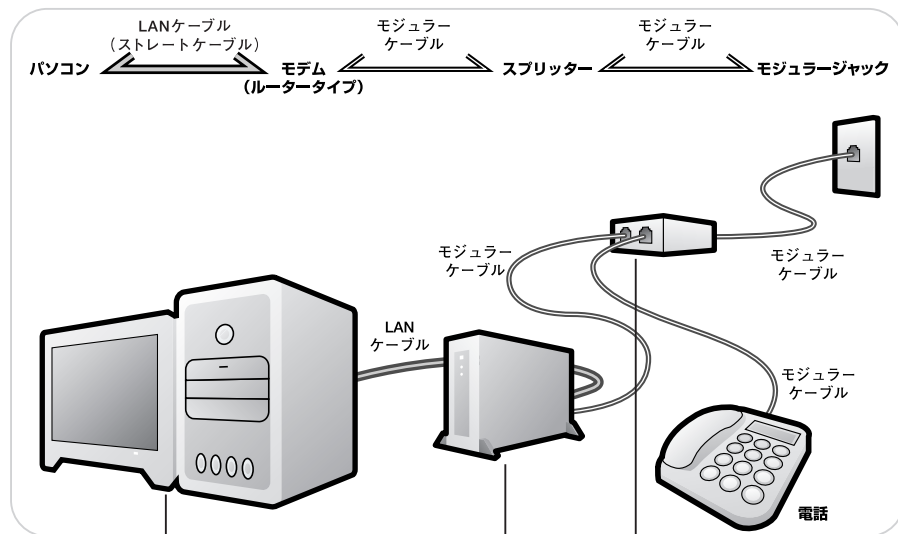
電話局とADSLを引く自宅との距離が長く、ある程度速度を確保できないと思われる場合には申し込みを受け付けないことがある。とくにアッカは審査が厳しい。アッカが受け付けなくても、それ以外の業者に申し込んで受け付けてもらえることもあるが、その場合は速度についてはあまり期待しないほうがいいだろう。

アッカ、イー・アクセスに加入する

3 モデムとパソコンをつなぐ(工事日)

フレッツ・ADSLと同じように、回線がADSLに切り替わる工事日の前日までに、モデムやスプリッターなどが入ったパッケージが送られてくる。下の図を参考にして屋内の配線をしておこう。ただし今使っている回線

がISDNの場合、電話を使うにはターミナルアダプターが必要になるので、工事日当日にNTTから工事を始めることを伝える電話がかかってくるまでは、スプリッターやモデムは接続しないほうがいい。



モデム



ADSL回線業者から送られてくるモデムには、「LINE」と「10BASE-T」の2つのポートがある。LINEにスプリッターからのモジュラーケーブルを挿し、10BASE-TにはLANケーブルを挿してパソコンにつなぐ。このモデムにはルーター機能が付いているため、パソコンを複数台接続する際には、パソコンとモデムの間に「ハブ」を設置するだけでいい。また、モジュラーケーブルはノイズを受けやすく、長すぎるとADSLの速度が低下する。LANケーブルは長くてもそれほど速度は低下しないため、モジュラープラグとパソコンが離れている場合はモデムをモジュラープラグの近くに置き、屋内の配線はできるだけLANケーブルで引き回すようにしよう。

スプリッター



1本のモジュラーケーブルを電話用とモデム用と2つに分ける装置。「LINE」「PHONE」「MODEM」の3ポートがある。「LINE」とモジュラープラグ、「PHONE」と電話機、「MODEM」とモデムを接続する。それぞれの接続にはモジュラーケーブルを使う。

パソコン

パソコン側の設定はとくに必要ない。LANケーブルでモデムと接続すれば、モデムとの通信が可能になるはずだ。

ルーター機能付きモデム

ルーター機能付きモデムは、プロバイダーのユーザー名やパスワードをモデムに設定することで、モデム自身がインターネットに接続することになる。モデムの電源を切ったり、設定画面から切断を指示しない限り、接続したままになる。そのため、パソコンはモデムとLANケーブル接続するだけでインターネットに接続できる。また、ファイアーウォール機能も付属しているため、外部侵入についても気にすることはまず無い。ただ、ウィルスメールには関係ないので注意。ちなみに「ルーター」といっても、送られてくるモデムのLAN側ポートは1つだけ。複数台を接続するには「ハブ」が必要になる。

アッカ、イー・アクセスに加入する

4 モデムを設定する



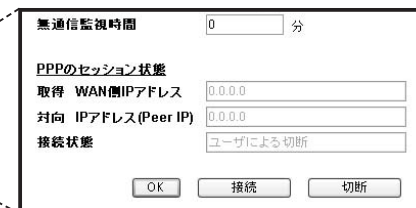
ブラウザを立ち上げ、アドレスバーに「192.168.0.1」と入れてアクセスする(モデムによっては「192.168.0.0」や、そのほかのアドレスになることもある。詳しくはマニュアルを参照してほしい)。ユーザー名とパスワードの入力を求められるが、これは「プロバイダー」ではなく「ルーター」のもの。マニュアルに従って入力する。

モデムのパスワードは工場出荷時のものから変更しておこう

ルーターモデムを設定するためにはモデムにアクセスしたうえで、ユーザー名とパスワードを必要とする。ただし、工場出荷時の設定ままではマニュアルを見なくても「ユーザー名: root パスワード: root」や「ユーザー名: admin パスワード: admin」と適当なものを入れれば大抵入れてしまい、設定を自由に變更できてしまう。パスワードはちゃんと変更しておこう。変更後にそのパスワードを忘れてしまった場合には、リセットボタンを使って工場出荷時の設定に戻すことができる。



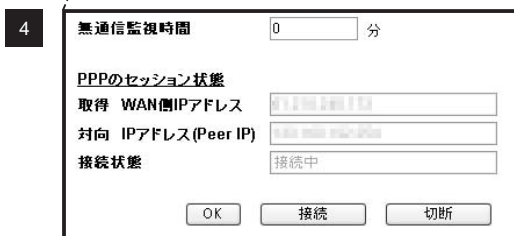
ルーターの接続設定の画面を開き、プロバイダーが発行したADSL接続用の「ユーザー名」と「パスワード」を入力する。そして接続ボタンを押す。



接続前だと、PPPセッションの状態が「切断」になっている。



3 接続ボタンを押すと、モデムを再起動するかどうか確認が出るので、そのまま再起動させる。数十秒かかるが、その間はモデムの電源を落とさないようにする。



プロバイダーの認証が済むと、インターネットに接続PPPセッションの状態が「接続中」となる。

細かい設定は基本的にいじらない

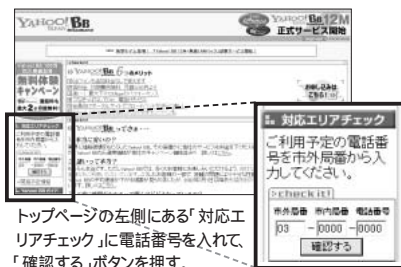
モデムによっては、非常に細かく設定できるものがあるが、よくわからない人がいじってしまうと、インターネットに接続できなくなったり、一部のアプリケーションが利用できなくなったりする。基本的には「パスワードの変更」「接続の設定」だけを設定しよう。また、たまにADSL業者からモデムの性能を向上させるソフトウェア「ファームウェア」のインストールを勧められるが、このときも指示に書いてある設定以外はいじらないこと。

Yahoo! BBに加入する

1 Yahoo! BBのウェブサイトから申し込む

http://bb.yahoo.co.jp

1 Yahoo! BBのウェブサイトから申し込む



トップページの左側にある「対応エリアチェック」に電話番号を入れて、「確認する」ボタンを押す。



2 その回線に導入できるコースが表示されるので、そこから加入するコースを選ぶ(8Mコース、12Mコース、12M+無線LANバックコース)



3 申し込みページへ
Yahoo! JAPAN IDを持っている人
まだYahoo! JAPAN IDを持っていない人



Yahoo! JAPAN IDの登録画面。以下の入力項目を埋めていく。1)これから使うYahoo! JAPAN ID、2)パスワード、3)パスワードを忘れたときに使う本人情報、4)生年月日、5)連絡用のメールアドレス、6)名前、7)住所

5 登録したYahoo! JAPAN IDでログインする。



ADSLの申し込み画面。以下の入力項目を埋めていく。

- ・申し込み者名
- ・日中連絡用の電話番号
- ・連絡先メールアドレス
- ・生年月日
- ・日中に連絡できる電話番号
- ・メールアドレス
- ・支払方法(クレジットカード番号もしくは銀行口座番号)
- ・暗証番号(登録情報の変更、有料サービスの購入に利用する)
- ・パスワードを忘れたときに使う本人情報「ペットの名前は?」などの質問とそれに対する答えとをセットにして登録する)
- ・ADSL回線を引くところの住所
- ・建物の種類「一戸建て」や「マンション」など)
- ・回線名義人情報(住所など)
- ・回線種別(アナログかISDNか)

BBフォンはブロードバンド電話

BBフォンはインターネットを使った電話サービス。全国47都道府県、海外231か国の相手と通話できる。通話料は、BBフォン加入者同士であれば無料、通話先がBBフォンに加入していない場合は1分2.5円(国内、もしくはアメリカの場合)の通話料が必要になる。

無線LANバックはどんなサービス?

家庭内で無線LANが使える無線LANカード付きモデムと、マクドナルドなどで提供しているホットスポットサービス「Yahoo! BBモバイル」の利用権がセットで付いてくる。Yahoo! モバイルが使える場所については、本誌付録の「Wiナビ」を参照してほしい。

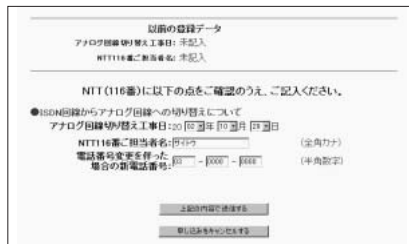
Yahoo! JAPAN IDを登録することで使えるサービス

Yahoo! JAPAN IDを登録すると、Yahoo!を自分専用のカスタマイズしたり、メッセージやオークション、カレンダーなどYahoo!の提供するさまざまなサービスを利用できるようになる。利用できるサービス:「My Yahoo!」「掲示板」「ゲーム」「オークション」「メッセージ」「フィナンス」「ショッピング」「Yahoo!モバイル」「カレンダー」「チャット」「ノートパッド」

http://www.yahoo.co.jp/docs/promotions/idguide/

2 申し込み確認のメールがくる

ウェブから申し込むと「Yahoo! BBの申し込み」と「Yahoo! ウォレット登録」の確認メールがくる。申し込んだ回線がアナログの場合、Yahoo! が工事日を設定してくるが、ISDNの場合は自分で設定する必要がある。申し込んだ後に「116」に電話してNTTにISDNからアナログへの切り替え工事を依頼したのち、工事日をYahoo! BBに伝えなくてはいいけない。



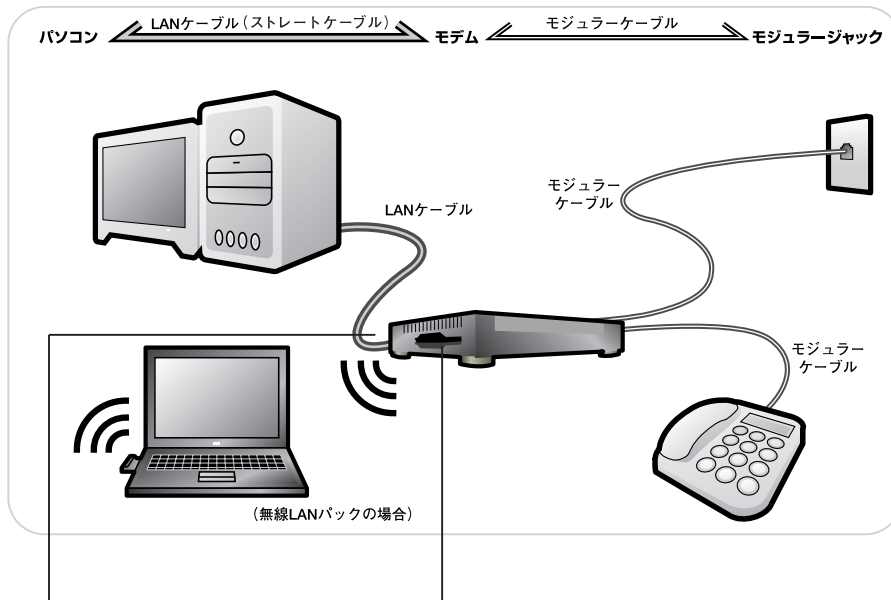
Yahoo! に工事日を伝えるためのウェブページ画面。アナログ切り替え工事が必要な場合には、その手順とこのページのURLが書かれたメールが送られてくる。

Yahoo! BBに加入する

3 モデムとパソコンをつなぐ(工事日)

回線がADSLに切り替わる工事日の前日までに、モデムが入ったパッケージが送られてくる。下の図を参考にして屋内の配線をおこう。ただし今使っている回線がISDNの場合、電話を使うにはターミナルアダプター

が必要になるので、工事日当日にNTTから工事を始めることを伝える電話がかかってくるまでは、スプリッターやモデムは接続しないほうがいい。



2台以上のパソコンを繋ぐ場合は?

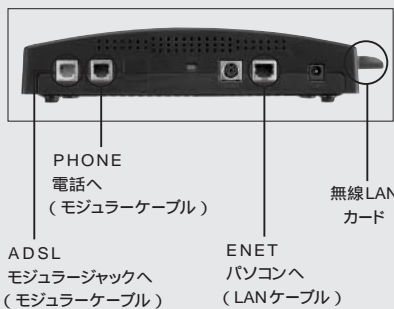
有線側にはルーター機能が付いていないため、パソコンとモデムに間に「ルーター」を設置する必要がある。また、無線LAN接続とLANケーブル接続はまったく別のネットワークになるため、LANでは相互をつなげない。有線LANと無線LANが混合した、もしくは無線LANによる家庭内ネットワークを構築するには、ルーターと無線LANアクセスポイントが必要になる。

BB フォンを使わない場合の接続は?

モデムの「PHONE」に接続した電話を使うと、自動的にBBフォンによる電話になる。BBフォンではない電話を使う場合は、モデムとモジュラージャックの間にスプリッターを設置して電話を接続する必要がある。スプリッターの設置方法は「フレッツ・ADSL」や「アッカ」の「イー・アクセス」とかやらない。258、261ページの図を参照してほしい。

コンボモデム / トリオモデム

ADSLとBBフォンに対応しているのが「コンボモデム」。それに無線LANカードスロットが付いたのが「トリオモデム」だ。2つとも背面に「ADSL」「PHONE」「DEBUG」「ENET」「PWR」の5つのポートがある。「ADSL」にはモジュラージャックからのモジュラーケーブルを、「PHONE」には電話機とつなぐモジュラーケーブル、「ENET」にパソコンとつなぐLANケーブル、「PWR」には電源アダプターを挿す。「DEBUG」は使用しない。また、トリオモデムの場合は、左側面のスロットに無線LANカードを挿しておく。



無線LANカード

無線LANパックに付いてくる無線LANカードは、モデム側面にあるカードスロットに挿す。トリオモデム専用カードのみが利用でき、ほかのカードは使えない。カードを挿せばすぐに利用できるが、モデムを設定しないと「Yahoo! BBモバイル」のユーザー全員にアクセスポイントを開放することになる。これを防ぐには「MACアドレスフィルタリング」による接続制限が必要になる。送られてくるマニュアルに従って設定しておくこと。



トリオモデム専用カード。ほかの無線LANカードは使えない。

4 パソコンの設定をする

1



「スタート」「コントロールパネル」「ネットワークとインターネット接続」「インターネット接続のセットアップや変更を行う」を選ぶ。



2



「接続」タブの「セットアップ」をクリックする。

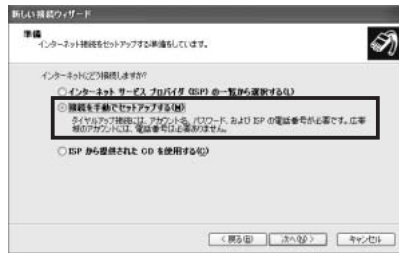


3



「新しい接続ウィザード」の画面が立ち上がる。「次を」を押して、次に出る「ネットワーク接続の種類」で「インターネットに接続する」を選ぶ。

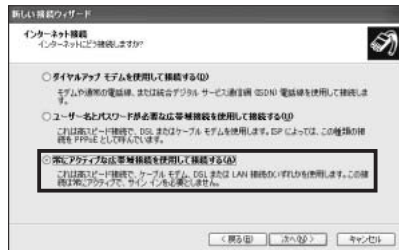
4



「接続を手動でセットアップする」を選ぶ。



5



「常にアクティブな広帯域接続を使用して接続する」を選ぶ。



6



「完了」を押す。これで、パソコンを立ち上げれば、自動的にインターネットに接続するようになる。

ウィンドウズXP以外のOSの場合

Yahoo! BBは、Ethernetを使ってIPをDHCPサーバーから割り振る。そのため、ウィンドウズXP以外の各OSの設定は以下になる。

ウィンドウズ95、98、98SE、Me
「コントロールパネル」「ネットワーク」「現在のネットワークコンポーネント」の「TCP/IP->LANカード名」を選択し、「プロパティ」を押す。そして、「IPアドレスを自動的に取得する」「DNSを使わない」に設定する。再起動する。

ウィンドウズ2000

「設定」「ネットワークとダイヤルアップ接続」「ローカルエリア接続」「プロパティ」「現在のネットワークコンポーネント」の「TCP/IP」を選択し、「プロパティ」を押す。「IPアドレスを自動的に取得する」「DNSを使わない」に設定する。再起動する。

MacOS 9.x(「Open Transport」のバージョンが2.7以上)

「コントロールパネル」「TCP/IP」「経由先」リストから「Ethernet」を選択する。「設定方法」リストから「DHCPサーバを参照」を選ぶ。設定を保存する。

MacOS X

「システム環境設定」「ネットワーク」「設定」リストから「内蔵Ethernet」を選び「TCP/IP」タブ内の「設定リスト」から「DHCPサーバを参照」を選ぶ。「PPPoE」タブ内の「PPPoEを使って接続する」のチェックを外す。設定内容を保存する。

トリオモデムの無線LANとの接続

トリオモデムの無線LANでの接続には、「Yahoo! BBモバイル」と同じIDとパスワードを使用する。詳細については本誌付録の「Wi-ナビ」を参照してほしい。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp